

皆様のご支援・ご協力をおねがいします。

私たち東京シュールの活動は、皆様のお力で、より力を発揮していくことができます。

■会員になって参画する、支える

- NPO会員…東京シュールの目的に賛同し、主体的に活動を担う個人。総会での議決権を持ちます。 入会金2万円 年会費1万円
- 支援会員…東京シュールの目的に賛同し、活動を支援する個人や団体・企業 入会金なし 年会費1口5千円(1口以上)
- 賛助会員…東京シュールの目的に賛同し、寄付によって活動を支援する個人や団体・企業 入会金なし 年会費1口5万円(1口以上)

※各種会員には、「TokyoShureNEWS」を年3回無料送付/主催イベントなどのご案内/フリースクール・不登校・子育て・NPO等の情報提供/関連出版物のご案内などの特典があります。
※入金方法 所定の申込書をご提出いただけます。事務局にご連絡ください。

■寄付をする

一般寄付…団体の活動や施設設備全般を支える財源となります。

特別寄付…フリースクールなどのプログラム、プロジェクト、行事・イベントなど、ご指定いただいた特定の活動をつくる財源となります。

東京シュール奨学基金…経済的に困難を抱える家庭でも子どもが学べるように支援するための基金です。

【会費・寄付のご入金先】

- 〈郵便振替〉
・口座番号:00160-0-765397 加入者名:東京シュール
- 〈銀行振込〉
・三菱東京UFJ銀行 王子支店(普)1015601 口座名:特定非営利活動法人 東京シュール
・ゆうちょ銀行 〇九店(当)0765397 口座名:東京シュール
(クレジットカード決済)
・東京シュールホームページからオンライン決済ができます。 www.shure.or.jp

■ボランティアで支える

日常、20名をこえる学生・社会人・親の方などのボランティアの皆さんにご協力いただいています。一般見学会にご参加いただいたのち「ボランティア登録」をお願いします。

■行政・企業・財団等との連携実績

- 〈連携・協働〉
文部科学省(いじめ対策等生徒指導推進事業等・2005～2015年度)
(フリースクール等検討会議)
東京都(不登校・中途退学対策検討委員会)
(教育支援センター等サポート講座事業・2016年度)
千葉県(子どもの居場所づくり調査研究事業等・2003～2013年度)
東京都葛飾区(特区による東京シュール葛飾中学校開校)
東京都北区(政策提案協働事業・2018～2020年、地域づくり応援団事業)
東京都世田谷区(ほっとスクール運営委託・2018年)
超党派フリースクール等議員連盟
東京学芸大学教育学部(多様な学びと子ども支援、フリースクール等の支援の在り方に関する調査研究)

- 〈助成・協力〉
国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」/日韓文化交流基金
福祉医療機構/石橋財団/北区社会福祉協議会
朝日ライフアセットマネジメント/キリン福祉財団/ニッセイ財団
GAP/Give2Asia(米国)/ステートストリート/UBS
セールスフォースドットコム/ボーイング/日本産業パートナーズ
ペイン・アンド・カンパニー/アレックス/三井住友海上火災保険
日本郵便 年賀寄附金/日本経団連1%クラブ/在日米商工会議所
東京シュール出版/創造集団440Hz/ツナガルラボ/グーグル/タカラトミー
大桃豆腐/幸栄不動産/JK/稲栄社印刷/ありん堂/日本卓球
ほのぼの運動協議会/日本NPOセンター/パブリックリソース財団/オリイ研究所
市民社会創造ファンド/ハマダ基金 ほか(順不同)

東京シュールのそのほかの活動

一般参加ができる講座やセミナーなど、いろいろな参加の機会があります。

■一般見学会

東京シュールの成り立ち、不登校やフリースクール情報、日常の活動やプログラムなどをご説明しています。子どもの体験談や活動VTR上映、スペース見学もあります。

▼毎月第2木曜日午前10時～(2時間程度) 参加資料代520円
※要事前申込み

■公開研究ゼミ

フリースクールやシュール大学では一般公開しているプログラムがあります。それぞれにお問い合わせください。

■土曜サロン

ひきこもり当事者など20歳以上の方の集いの場です。
▼毎月第1土曜日午後2時～5時 会場:東京シュール王子

■親の会

- 登校拒否を考える会
▼月例会第3日曜日午後1時30分～ 会場:東京シュール王子
- 不登校を考える親の会・大田
▼月例会第1日曜日午後1時30分～ 会場:東京シュール大田
- 流山不登校を考える会
▼月例会第1水曜日午後4時～ 会場:東京シュール流山
- 葛飾不登校の子どもを持つ親・保護者の会
▼月例会第3土曜日午後10時～ 会場:東京シュール葛飾中学校

■親ゼミ

親どうして、月1回、4ヶ月連続参加を基本に深く学びあうゼミです。
▼毎月第2木曜日午後2時～5時 参加費1,030円/月※要事前申込み

■電話相談

不登校やフリースクールに関する相談、情報提供を無料で行っています。
▼03-5993-3135(月～金の午後2時～6時)

■子ども相談電話「シュールテレ」

▼03-6680-8094(木曜日夜6時～8時)

■ネットワーク

フリースクール全国ネットワーク、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会等に加盟し、活動を中心に担っています。

お申し込み・総合お問い合わせ先



特定非営利活動法人
東京シュール

TEL 03-5993-3135 FAX 03-5993-3137
E-mail info@shure.or.jp www.shure.or.jp

NPO法人

東京シュール

TOKYO SHURE

活動案内



東京シューレって どんなところ?



子どもの多様な学び 成長を支える。

NPO法人東京シューレ理事長
奥地圭子

もっと、子どもの気持ちや興味を大事にして、のびのび学びあえるところはないかなあ、と持っている方はいらっしゃいませんか。子どもが不登校になって、どこかに通えるところはないかなあ、と居場所を探している方はいらっしゃいませんか。

東京シューレは、そんな方々にきっと役に立つ学校外のフリースクールです。日本の不登校が激増するさなかの1985年に誕生し開設後33年の実績を積んできました。フリースクールの卒業生は1500人を超え、それぞれ道を歩んでいます。

現在、フリースクール4か所(王子・新宿・大田・流山)の運営のほか、在宅で過ごしている子どもたちの支援活動(ホームシューレ)や、オルタナティブな大学としての「シューレ大学」を主な活動の柱としています。不登校の子どもたちの成長支援、子どもの自主性を培い、子ども中心の新しい教育を創り、親・市民・学生への学習機会の提供や相談活動など、幅広い活動を展開しています。

1999年には東京都より NPO法人の認証を受けました。この法人はフリースクールに通う子どもたちの保護者を中心とした約 300名の会員と、支援会員や多くのボランティア、協力者によって支えられています。そしてフリースクールの公教育化にも取り組み、NPO法人を母体に学校法人を設立し、2007年度に「東京シューレ葛飾中学校」を開校しました。

私たちは、多様なあり方が選べる制度があり、かけがいのない個性と学ぶ権利が守られ、子どもも親も安心して暮らせる社会を目指しています。

このパンフレットでは、東京シューレのさまざまな活動について、コンパクトにまとめてあります。もし私たちの活動に関心を持たれたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。

フリースクール 東京シューレ

連絡先 〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19 TEL 03-5993-3135 FAX 03-5993-3137
E-mail info@shure.or.jp URL www.shure.or.jp/

安心していただける居場所・子ども中心の学びの場

東京シューレは、子どもが安心していただける場所です。自分が自分であることを大事にします。安心から自信が生まれてきます。

あなたがやりたいことを応援します。どうしたら実現できるかを一緒に考え、それに向けたサポートをおこないます。

あなたが考え、決めることを尊重します。「自己決定」という自由、それに伴う責任も学ぶことができます。

東京シューレは、それぞれの人の違いを大事にしあいます。あなたの個性、感性、ペース、趣味、能力…一人ひとりそれぞれに寄り添うことを大切にします。

学習や生活のことなど、東京シューレは子どもが中心です。ミーティングや実行委員会などで、子どもたち自身が相談して決めていきます。

親・保護者どうして支えあい、毎月の保護者会を中心にいっしょに創っていきます。

入会対象：6歳～20歳(各スペースに初等部・中等部・高等部があります)

フリースクールでは、異年齢が共に過ごし育ち合う環境、さまざまな体験、人や社会との出会いを通して、学んできます。そこに「ほんものの学び」があります。「シリーズ人間」「ようこそ先輩」「いろいろタイム」「しごと体験」「子どもの権利」など特色あるプログラム、フットサル、卓球、バスケなどのスポーツ、ドラム、ピアノ、ギターなどの音楽、お菓子作りや料理・食学、パソコンや映像制作などがあります。スペース合同で交流して行く合宿やイベントもあります。また、一人ひとりのペースに応じた基礎学習、高認、進路のサポートをおこなっています。



東京シューレ王子

開室：月～金 約100名
〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19
TEL:03-5993-3135
FAX:03-5993-3137
www.shure.or.jp/oji/

【アクセス】
JR京浜東北線
東京メトロ南北線
「王子駅」より徒歩4分

東京シューレ新宿

開室：月～金 約40名
〒162-0056 東京都新宿区若松町28-27
TEL 03-5155-9803
FAX 03-5155-9804
www.shure.or.jp/shinjuku/

【アクセス】
都営地下鉄大江戸線
「若松河田駅」若松口より徒歩4分

東京シューレ大田

開室：月～金 約30名
〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-7-11
TEL 03-6424-8311
FAX 03-6424-8310
www.shure.or.jp/ota/

【アクセス】
京浜急行「雑色駅」より徒歩5分

東京シューレ流山

開室：月～金 約25名
〒270-0121 千葉県流山市西初石3-103-5
グローリアビル401
TEL&FAX 04-7199-7141
www.shure.or.jp/nagareyama/

【アクセス】
東武野田線「初石駅」より徒歩1分

ホームシューレ

ホームエデュケーション家庭のネットワーク

ホームエデュケーションは、家庭を拠点にした教育のあり方をさします。欧米では、こうした教育が成長の一つの道として社会的・制度的に認められている国もあります。「不登校で家にいる」から「わが家はホームエデュケーション」という意識で暮らせば、子どもへのまなざしは、もっと温かく、肯定的になることでしょう。

ホームシューレには全国各地から約 200 家庭が参加。月刊交流誌や会員専用 SNS(子ども約 80人が参加)、年一回のホームシューレ全国合宿、全国各地で開催される地域サロン(年間約 80回)などを通してつながり合い、交流しています。また、学習サポート・高認サポートや、進学・就労サポートもおこなっており、その他さまざまな相談にもなっています。2012年度からは通信制高校との提携により、ホームシューレコースでホームエデュケーションしながら高卒資格を取ることが可能になりました。



子どもの声

ホームシューレに入って良かったことは、たくさんの人と出会えたことです。ちょっと前までの私は、外に出て誰かと会うとすぐ疲れて、辛くなってしまっていました。入会してすぐ『ぼる～ん』(会員の交流誌)に絵を投稿し、他の会員さんから誌上で声をかけてもらうようになりました。ちゃんと見ていてくれる人がいたことに驚いて、同時に「ここにいていいよ」と言ってもらえた気がして、とても嬉しかったです。文通やメールでもやりとりをするようになって、「実際に会って話してみたい」という気持ちになり、ホームシューレの全国合宿に、緊張でガチガチになりながら参加をしました。そこで友達と初めて会い、会場で手を取り合って喜びました。他にも多くの人たちが、私の投稿を「いつも見ていたよ」と言ってくれました。家において絵を描いているだけでもつながっていたんだな、本当に一人じゃないんだなと思いました。人と関わることを苦手と思っていた私が、今ではたびたびサロンやオフ会に参加するまでになっています。ホームシューレは、私に居場所や活躍する場所を用意してくれました。今は私にとって欠かせない存在になっています(MK・16歳)

連絡先

〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19 TEL/FAX 03-3909-0046
E-mail info@homeshure.jp URL www.homeshure.jp

シューレ大学

オルタナティブな表現・探求の場

シューレ大学は、自分の学びをデザインするオルタナティブ大学。18歳以上の若者が知りたいこと・表現したいことを存分に探求しています。

形にとらわれず自ら場を創る

大学卒業資格は得られませんが、入るのに学歴はいりません。一人ひとりにあったスタイルを実現するため、月2回の運営会議を中心に、シューレ大学自体を学生たちで創っています。



「知る・表現する」を自分のスタイルで探求する

知りたいこと表現したいことも人それぞれならば、その人にあったやり方もそれぞれです。シューレ大学では、まずその人が「何をどのように知りたいのか」ということから始まり、現在は講座、グループプロジェクト、個人プロジェクトなどを通して実現しています。



世界とつながりあり

シューレ大学は社会全体が自分達のキャンパスと考え、国内外を問わずあちこちに出かけて行きます。これまで、韓国、ロシア、アメリカ、イスラエル、オーストラリア、ブラジルなど、20を超える国・地域のオルタナティブな学びの場とつながり、交流・研究を深めてきました。

アドバイザー・講師から助言を得る

探求はスタッフと相談しながら進められますが、魅力的な約 50 人のアドバイザーや講師の方たちの話を聞いたり、アドバイスを受けることができます。

社会へ、世界へ発信する

自分から始まる表現・研究を発信する機会を様々な形で持っています。それぞれの研究を公開の場で発表する「研究イベント」、研究論文を掲載する『シューレ大学紀要』、冊子・書籍の発行、「シューレ大学国際映画祭・生きたいように生きる」、演劇公演、美術展の開催などを行っています。

自分とは何者かを模索し生き方を創造する

日常の人間関係を通して「自分とは何者か」を問い続け、自分から始まる研究スタイル、表現スタイルを追求し、納得のいく生き方の模索につなげていきます。

連絡先

〒162-0056 東京都新宿区若松町28-27 TEL 03-5155-9801(FAX 9802)
E-mail univ@shure.or.jp URL shureuniv.org/

子どもの声

(東京シューレ新宿会員、14歳)

小5から私立中学の受験勉強をはじめた。私はなぜこんなことをしてるんだろう? ってすごく疑問に思ったけど、親に言い出せず、耐えて合格した。だけど、あるとき電車に乗るのが怖くなって、それから学校を休みはじめた。親からフリースクールのことを聞いて、見学に行ったら、いろんな年齢の人が一緒になって遊んでいて、楽しそうだった。友達もできたのでシューレに入会することに。今、私はシューレ通信やホームページの編集の活動をしている。自分が元気になっていくのが目に見えて分かる。シューレは、私の元気の源だ!

高校コースを併設

札幌自由が丘学園三和高等学校と提携し、同校の東京シューレ学習センターを併設、2012年度からフリースクール、ホームシューレに在籍しながら高校卒業資格が取得できるようになりました。

同校は、フリースクール札幌自由が丘学園が開校した広域通信制高校。長年のフリースクールどうしの交流から誕生しました。東京シューレ独自の学習プログラムで、安心して学ぶことができます。



東京シューレ葛飾中学校

フリースクールの公教育化をめざして

わたしたちは、子ども・若者中心の多様な教育の実現をめざして、調査研究や制度研究、政策提言の活動にも力を入れています。フリースクールの公教育化をめざして、学校法人東京シューレ学園を設立、2007年4月、東京シューレ葛飾中学校開校を実現しました。

東京シューレ葛飾中学校は…

子どもがつくる・子どもとつくる学校
市民がつくり出した学校
フリースクールから生まれた学校
特区を活用した教育課程特例校
不登校の子どもたちのための学校
そして、みんなでつくり続ける学校
そんな「学校っぽくない学校」です。



〒124-0024 東京都葛飾区新小岩3-25-1
TEL 03-5678-8171 FAX 03-5678-8172
E-mail info@shuregakuen.ed.jp
URL www.shuregakuen.ed.jp